



このまちのすべての人々が 理解し、支え合えるまちづくり

地域には様々な人が暮らしています。車いすを使っている人がいたり、目や耳が不自由な人もいます。知的障害のある人もいます。また、お年寄りや小さな子どももいますし、おなかに赤ちゃんがいるお母さんもいます。

少子高齢化が進んで、福祉サービスを必要とする人や病気や事故などの様々な事情から行動上の制限を受ける人が年々増加し、また一方では、生活の質や豊かさを求める近年の傾向から、障害のある人やお年寄りなどの社会への参加意欲も高まってきております。

福祉のまちづくりは、だれもが安心して暮らせる住み良いまちを、皆で力を合わせてつくり上げていくことですが、そのためには、障害のある人やお年寄りなどのことを正しく理解し、このような人が困っていることや悩んでいることを一つひとつなくし、お互いに支え合うという意識をみんなが持ちながら、あらゆる分野において障壁のないまちづくりに取り組むことが何より大切です。

私たちの福祉のまちは
いろいろな人たちで
構成されています。

お年寄り

特性

- ◎歩行能力の衰え
- ◎感覚機能の低下

- 階段の上り下りが大変
- つまずきやすい
- 視力や聴力が低下する
- 細かい作業が苦手
- 立ったり座ったりが辛い



配慮すべき主な事項

- できるだけ段差をなくし、平坦性を確保する
- 案内は大きな文字でわかりやすく表示する
- ベンチや休憩スペースを確保する
- ドアレバーなど使いやすいものを使用する

車いすを 使っている人

特性

- ◎車いすの場所が必要
- ◎両手がふさがっている
- ◎座位で移動する

- 段差や階段を乗り越えられない
- 手の届く範囲が狭い
- 狭い場所で方向転換できない
- 開き戸は使いづらい
- 急な下り傾斜では止まらない



配慮すべき主な事項

- コンセントやスイッチは手の届く位置に設置する
- 案内や標識、商品は低い目線でも見えるようにする
- 段差をなくしスロープを設置する
- トイレ、洗面所などの広さを確保する
- ドアは自動ドアや引き戸にする

目が不自由な人

特性

- ◎ものが見えない
- ◎ものが見えにくい

- 危険であることが伝わりにくい
- 文字や信号が見えない
- 見える範囲が狭い、暗くなると見えない



配慮すべき主な事項

- 点字ブロックや音響信号機などにより危険を知らせる
- 必要な情報は点字表示やアナウンスを活用する
- 通路上に障害物を置かない

耳が不自由な人

特性

- ◎音が聞こえない
- ◎音が聞こえにくい

- 危険であることが伝わりにくい
- 会話が難しい
- 小さい音は聞こえない



配慮すべき主な事項

- 文字や手話などにより情報を伝達する
- 顔の見える窓口で対応する
- 緊急時には光や電光掲示板により情報を伝達する

妊娠している人

特性

- ◎歩行が困難である
- ◎小さい子どもと一緒にいることがある

- 足下が見えづらくつまずきやすい
- 階段の上り下りが大変
- 子どもから目がはなせない



配慮すべき主な事項

- 段差をなくし、手すりなどを設置する
- 平坦性を確保し、滑りにくく歩きやすい床面にする
- ベンチやベビーシート等を設置する

手や足が不自由な人

特性

- ◎手が使いづらい
- ◎歩行が不安定
- ◎杖や歩行器を使っている

- 手の届く範囲が狭い
- 複雑な動きが苦手
- 杖などで手がふさがっている
- 段差や階段が上がりづらい
- 幅の狭い場所は歩きにくい



配慮すべき主な事項

- 段差をなくするとともに階段のけあげはなるべく低くする
- スイッチ類は、肘などでも使えるものを設置する
- ドアレバーや水栓は操作しやすく軽いものとする
- スロープでも長い場合には踊り場を設ける

知的障害のある人

特性

- ◎知的な働きや発達が他の同世代の人よりゆっくり

- 危険を回避する力が弱い
- 急な変化などに対応する力が弱い
- 複雑な案内はわからない



配慮すべき主な事項

- 案内標示や資料などには絵や図などを用い視覚的にもわかりやすい工夫をする
- 危険な場所では防護柵を設けるなど、安全確保のための整備を行う
- 困った様子をしている場合はよく話を聞くほか、焦らずにその人がわかりやすい言葉でゆっくり話しかける